

【事業実績】

「いつでも・どこでも・だれでも参加できる」を活動方針として、「地域に根ざした文学館」となることを目指し、地域と協働しながら事業を実施した。この事業は、館内外で行うワークショップなどを「地域交流催事」、図書館や小中学校での出張展示を「地域交流展示」、文章や挿絵の制作や本の装丁を体験する「本作りワークショップ」、多様な区民を対象とした講座を「だれでも文学館」と位置づけ、「地域の子ども」「地域のおとな」「博物館」を積極的につなげながら幅広い層と地域への浸透を試みた。さらに新規出張展示バナーを2セット開発し、コンテンツの充実を図った。

1. あらゆる者が参加できる「どこでも文学館」によるアウトリーチ活動

(1) 小・中学校と連携した地域文化の担い手の育成

- ① 地域交流催事【学校連携プログラム】(どこ文・学校)
 - ・ 「芦花小学校＋大竹英洋ワークショップ」実施:11月11日183人、12日181人、15日181人
- ② 地域交流催事【ことばとからだ】(どこ文・ダンス)
 - ・ 「ことばとからだ ～からだで表現しよう～」実施:8月22日27人
- ③ 地域交流展示【出張展示】(どこ文・展示)
 - ・ 展示33回 実施:平成31年4月1日～令和2年2月29日127,388人

(2) 社会人ほか多様な対象者のための学習講座の実施

- ① どこでもスタート【ショートショートを書こう】(どこ文・短編)
 - ・ 「だれでも小説家 ～ショートショートを書こう～」実施:9月7日24人、8日25人、16日13人
- ② どこでもスタート【本の形に仕立てよう】(どこ文・製本)
 - ・ 「だれでも製本家 ～本の形に仕立てよう～」実施:7月28日36人
- ③ どこでもスタート【自然の素材に親しもう】(どこ文・ネイチャー)
 - ・ 「＜木工ワークショップ＞木遊木」実施:6月1日60人
 - ・ 「ネイチャーコラージュ」実施:8月27日42人
- ④ どこでもスタート【親子でおはなしを楽しもう①】(どこ文・お話)
 - ・ 「pipioといっしょに(読み聞かせと工作)」実施:4月21日28人、8月23日35人、9月7日30人、12月8日67人
 - ・ 「＜ほんととわ＞哲学カフェ」実施:5月25日11人、9月15日17人、11月10日12人、2月15日19人
- ⑤ どこでもスタート【親子でおはなしを楽しもう②】(どこ文・声優)
 - ・ 「もっと朗読を楽しもう ～プロの読み方を聞いてやってみよう～」実施:11月9日31人
- ⑥ どこでもスタート【冒険物語をつくろう】(どこ文・監督)
 - ・ 「ワン・ミニット・ムービー」実施:2月1日34人
- ⑦ どこでもスタート【原田治展関連イベント】(どこ文・デザイン)実施せず
- ⑧ どこでもスタート【小松左京展関連イベント】(どこ文・大学)実施せず
- ⑨ どこでもスタート【中村歌右衛門展関連イベント】(どこ文・オリパラ)実施せず

(3) 地域交流展示・催事の全国発信

- ① 地域交流展示・催事【活動の告知・報告】(どこ文・広報)
 - ・ 報告書「どこでも文学館報告書2019」2020年3月31日発行(B4タブロイド判3,000部)
- ② 地域交流展示【新規展示キットの開発・制作】(どこ文・制作)バナー制作:新規2セット
 - ・ バナー「原田治 OSAMU'S MOTHER GOOSE」17枚(850×1200mm)1セット制作
 - ・ 写真パネル「大竹英洋 ノースウッズ 一生命を与える大地」21枚(大全紙サイズ)1セット制作